

中部地方整備局事業評価監視委員会（平成18年度第1回）  
議 事 概 要

1 . 日 時 平成18年7月31日(月)13時30分～15時30分

2 . 場 所 名古屋銀行協会 5階大会議室

3 . 出席者  
委 員

浅岡委員長、加藤副委員長、沖野委員、黒田委員、  
枚田委員、竹内委員、谷委員、藤田委員

中部地方整備局

局長、山口副局長、上田副局長、企画部長、建政部長、  
道路部長、営繕部長、港湾空港部長、他

4 . 議 事

- 1 ) 挨拶 中部地方整備局長
- 2 ) 委員紹介
- 3 ) 委員長、副委員長の選任
- 4 ) 平成17年度 第4回委員会の議事概要の確認
- 5 ) 再評価対象事業の審議等  
道路事業  
一般国道153号豊田西バイパス  
一般国道153号伊南バイパス  
三遠南信自動車道一般国道474号飯喬道路  
中部縦貫自動車道一般国道158号高山清見道路
- 6 ) 報告  
豊川水系河川整備計画の一部変更について
- 7 ) 議事概要の確認、その他

5 . 配付資料

- ・委員会開催資料（委員会議事次第、配付資料一覧、委員名簿、配席図）
- ・資料1 平成17年度 第4回議事概要
- ・資料2 再評価対象道路事業概要
- ・資料3 一般国道153号豊田西バイパス 説明資料
- ・資料4 一般国道153号伊南バイパス 説明資料
- ・資料5 三遠南信自動車道一般国道474号飯喬道路 説明資料
- ・資料6 中部縦貫自動車道一般国道158号高山清見道路 説明資料
- ・資料7 豊川水系河川整備計画の一部変更について  
(参考資料)
- ・参考資料1 中部地方整備局事業評価監視委員会規則
- ・参考資料2 中部地方整備局事業評価監視委員会運営要領
- ・参考資料3 豊川水系河川整備計画（大臣管理区間）

6. 主な審議結果等

委員長に浅岡委員、副委員長に加藤委員が選任された。

平成17年度 第4回委員会の議事概要が資料1のとおり確認された。

(1) 道路事業

道路部より説明された道路事業4件の再評価対応方針(案)については、以下のとおりとする。

- 一般国道153号豊田西バイパス・・・・・・・・・・了承
- 一般国道153号伊南バイパス・・・・・・・・・・了承
- 三遠南信自動車道一般国道474号飯喬道路・・・・・・・・了承
- 中部縦貫自動車道一般国道158号高山清見道路・・・・・・・・了承

委員より出された意見・質問及びその回答

項目	意見・質問	回答
全 体	費用便益比について、公共投資全体の平均値はいくらか。また、道路全体の平均値はいくらか。	各省庁別、事業別の算出方法が異なるため、公共投資全体の平均値は決まっていない。また、事業規模や事業内容により異なっている。
	更に一般的に公共投資に対する指標はどうか。	一般的には、費用便益比は、1.0以上を指標としている。
	費用便益効果分析の手法について教えて頂きたい。	費用便益効果については、直接便益効果と間接便益効果があり、定量的に算出している効果と非算出効果がある。
	直接的な効果だけではなく、地域にもたらす効果も評価するべきではないか。	地域への効果の取り入れなどについては、今後の課題であると認識しており、算出方法については現在検討が進められているが、確定するには至っていない状況である。したがって、現在の費用便益分析手法は効果の価格評価手法が確立しているものについて算定している。
	暫定供用した後、完成供用させる理由はあるのか。	交通需要にあわせて、段階的に整備を進めている。
	数値等の定量的な評価にとらわれすぎているのではないか。これだけでは国民にはわかりづらい。	ご指摘を踏まえ、数値以外の効果についても極力分かり易く説明できるよう工夫をさせていただく予定。
	農道等との代替性について、連携を考えていただきたい。	現状でも、関係者調整のうえ、事業を進めるようにしている。
豊田西バイパス	費用便益比からも当該路線は重要な路線であることがわかるが整備の進捗が遅いのではないか。重点的に整備を進めるべきではないか。	交通需要等を考慮し、必要性に応じ段階的に整備を進めているところである。

高山清見道路	事業該当区間のみで評価するのではなく、路線全体で評価するべきではないか。	現在の事業評価のマニュアルに基づき評価している。なお、マニュアルでは、事業評価対象路線以外はすべて整備された状態を前提として、事業評価対象路線の有無により、当該区間の費用便益効果を算出し、評価している。
	緊急医療に対する効果で、当該道路から現場までの評価をどのようにしているのか。新たな交通集中箇所の発生による混雑はないのか。	ICを適切に整備することにより、交通分散が期待できるため、時間短縮効果はあると考えている。なお、一般道路を利用する区間についても評価を行っている。
飯喬道路	過疎化が進む地域での整備に、投資効果はあるのか。	現在の事業評価マニュアルに基づき費用便益効果を算出した結果、投資効果はあります。また、医療施設が減少する中で、医療機関が充実した都市部へのアクセスが向上する効果や災害に強い地域間ネットワークを構築するといった効果もあり、投資効果はあると考えている。

## 7. 報告事項

### (1) 豊川水系河川整備計画の一部変更について（報告）

河川部より、豊川水系河川整備計画の一部変更について報告を受けた。

#### 委員より出された意見・質問及びその回答

意見・質問	回答
設楽ダムの利水の必要容量が減った分を不特定補給用の容量にすることは議論されなかったのか。	近年の渇水頻度の増大に鑑み、新規開発水量の減量は水利用の安定性の確保や流水の正常な機能の維持等のために振り替える計画としている。
流域住民の意見も十分聞いて事業を進めて頂きたい。	計画、事業段階での説明会等を通じ流域住民の理解も得つつ事業を進めていきたい。